

本の森 2月号



丹波篠山市立中央図書館通信 No. 198 2022年2月1日 発行

今月の特集

メッセージ

2月14日はセント・バレンタインデー。起源は西暦269年の古代ローマ。ローマ皇帝に処刑されたキリスト教司祭「聖ウァレンティヌス」の名前が由来とされています。14世紀以降に恋人同士のイベントとして定着したようです。日本では昭和11年、神戸の洋菓子店の広告がきっかけで、チョコレートを贈る習慣が今なお続いています。日頃から感謝している人に普段言えない気持ちを伝えるのにも、いい日かもしれませんね。

今月の特集では、思いを伝えるというテーマで「メッセージ」に関する本を集めてみました。

『大谷翔平勇気をくれるメッセージ80』

児玉 光雄 著 三笠書房 783.7コ



『今、世界で一番有名な日本人』といっても過言ではない人物、大谷翔平選手。2021年の素晴らしい活躍は記憶に新しいところです。

本書は、臨床スポーツ心理学者として数多くのプロスポーツ選手のカウンセラーを務めてきた兵庫県出身の著者が、大谷選手の数々の名言をピックアップし、エピソードをまじえて解説した一冊です。巻頭カラー写真の後には彼の基盤として有名になった「目標設定シート」が取り上げられ、シートの記入法と極意が教示されています。

読書家としても有名な大谷翔平選手の成功方程式。謙虚で素直で誠実で現実的な、懐の深さを感じさせる数々のメッセージは、多くの人の心に響くのではないのでしょうか。春を待つこの時期におすすめの本です。 (酒井)





マークデザイン
加藤昌男

『俳句いまむかし ふたたび』

坪内 稔典^{ねんてん}著 毎日新聞出版 911.30ツ

文学の棚から



本書では、俳句をいまむかしの2句ずつ、季節順に並べてあります。

いま 「コロナの春に母となりたり子と生れたり 寺井谷子」

むかし 「何はさて命大事の春寒し 尾崎紅葉」

タイトルに「ふたたび」とあるように続編で、2010年以降に著者が毎日新聞に連載中の「季語刻々」をまとめたものです。

70代になった著者は、季節という文化にいとしさや生きている証を感じる一方で、「季節についてゆくには体力も気力もいる」ことがわかるようになったと述べています。庭の草花を愛でるにも、旬の料理をいただくにも、そのための準備や心がけが要ります。俳句は「言葉において季節を作る」文芸です。俳句が切り取った新鮮な季節感は、俳句初心者でも楽しめる1冊です。 (栗田)

『今日は何の日？ 今日も本の日！』

おおさかはじめ りゅうせん
逢坂肇と流泉書房の仲間たち 著 苦楽堂 019.9キ

一般書の棚から

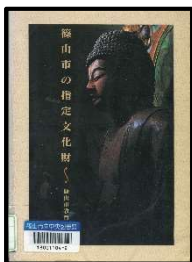
神戸市にある書店「流泉書房」にある黒板は、少し変わっています。「2月4日1958年、東野圭吾生まれる」や「2月15日1860年、十五少年、漂流開始」など、過去その日に起きたことや、誕生日を迎える人物の名前が史実、創作を問わずに書いてあるからです。

店先で毎日変わる何かを、という思い付きで始まったこの企画。ウィキペディアを駆使して書く内容を決定し、それに関する本を紹介していくと、SNSで話題を呼び、来店者からも声をかけられることが多くなったそうで、本書はその一部を収録しています。

本好きが本好きのために贈るブックガイド。今日の一冊を選ぶための参考になさってください。 (西澤)



郷土資料の棚から



「篠山市の指定文化財」

篠山市教育委員会地域文化課 // 編
(郷土) C7/00/サ

【たんばささやま「まめ」知識】

このコーナーでは、丹波篠山にまつわる本を紹介します。

指定文化財とは — 文化財保護法によって、わが国の歴史上、芸術上、学術上価値の高いものとして指定された文化財をさす —

令和4年1月現在、丹波篠山市の指定文化財は有形・無形を合わせ国指定等57件・県指定28件・市指定138件が登録されています。

本書は2000年3月に発行された書籍です。国指定14件・県指定22件市指定139件の有形・無形の指定文化財の所在地と解説が、美しいカラー写真と共に掲載されています。私たちの丹波篠山の財を改めて確認し、機会があれば訪れてみてはいかがでしょうか。 (酒井)

Y onde M ite

よ ん で み て

『Yonde Mite』のコーナーでは利用者の方から寄せられたお勧めの一冊を掲載します

『哲さんの声が聞こえる』
加藤 登紀子 著 333.8カ
2021.07 出版



急逝する最後の瞬間まで人生をアフガニスタンに捧げた中村医師。その足跡をたどり言葉を紹介しながら、著者の思いが綴られている。

ペンネーム 周五郎ヴァン

『何があっても、君たちを守る』
玉井 義臣 編 369.4ナ
2021.07 出版



『親を喪った子どもたちの心の叫び・・・』
“あしなが運動”55年。現在 85 歳の玉井義臣氏の歩みを読んでみて!!

ペンネーム ろうばい 蠅梅

『あちらにいる鬼』
井上 荒野 著 Fイノ
2019.02 出版



小説家の父・井上光晴、美しい母、愛人である瀬戸内寂聴。当時5歳だった娘が3人をモデルに書きあげた特別な関係。映画化が決定!

ペンネーム いし ぶさ 石 路

『大遺言』
永 拓実 著 289.1工
2017.07 出版



永六輔の孫が、ゆかりの人々を訪ね歩き、永六輔が遺した言葉と行動を辿る本。今を生きるヒントがたくさん詰まっている。

ペンネーム こぶし 辛夷の花

『貝に続く場所にて』
石沢 麻依 著 Fイシ
2021.07 出版



主人公が暮らすドイツに3.11の震災で行方不明になったはずの友人が現れる。

夏目漱石・寺田寅彦・天文学・キリスト教美術などが散りばめられた作品。芥川賞受賞作

ペンネーム アマビエ

『角野栄子の毎日いろいろ』
角野 栄子 著 910.26カ
2017.03・出版



「魔女の宅急便」の生みの親の日常。当時82歳の彼女から学ぶ、人生を明るく色鮮やかに生きていくための「衣」「食」「住」のレシピ集。

ペンネーム ふうちゃんママ



映画上映会のお知らせ

入場無料
申し込み不要

「オール・アバウト・マイ・マザー」

1999年・スペイン 101分・日本語字幕

■監督 ペドロ アルモドバル 監督

■出演 セシリア ロス 他 出演

■日時 2月11日(金) 14:00~15:00
2月12日(土) 15:00~16:00

■場所 中央図書館 視聴覚ホール

マドリードで暮らすマヌエラは、一人息子エステパンを女手一つで育ててきた。エステパンの17歳の誕生日に隠してきた父親の秘密を打ち明ける決意をしたが、息子は不慮の事故で帰らぬ人に。元夫に息子の死を伝えるために青春時代を過ごしたバルセロナを訪れたマヌエラだが、ひょんなことから大女優ウマの付き人になることになった。第72回アカデミー賞外国語映画賞受賞作品。

図書館カレンダー 2月 行事予定

日	月	火	水	木	金	土
		1 休	2	3	4	5
6	7 休	8	9	10 図書館の日	11	12
13	14 休	15	16	17	18	19
20	21 休	22	23	24	25	26
27	28 休					

【中央図書館】

- ★ 毎月10日は図書の日
全館：2/10(木) 10:00~18:00
蔓延防止措置発令により中止となりました
- ★ 「農都環境課パネル展」
展示ホール:1/29(土)~2/10(木)
- ★ 「映画上映会」
視聴覚ホール
蔓延防止措置発令により中止となりました
- ★ 「健康課食育展示」
展示ホール：2/16(水)~2/25(金)



本を大切にご利用ください

図書館の本は、大切な「公共の資料」です。いつまでもきれいな状態に保ち、次の方が気持ちよくご利用いただけるよう、水濡れや汚れなどがないように皆様のご協力を切にお願いします。

紙でできている本にとって「水」は大敵！特にこの季節は、窓の結露に要注意です。うっかり窓際に置かれた本は、結露で知らないうちに水濡れ状態になってしまいます。他にも移動中の雨や雪、カバンの中のペットボトルなどの水分にも注意が必要です。

大切な本が「水濡れ」や、汚れて返ってくるが多々あります。ご利用の際、本の取扱には十分にご注意をお願いします。

丹波篠山市立図書館長